

中学校 第2学年 美術科学習授業案

平成27年11月18日 水曜日 第6校時
2年
場所
授業者

1 題材名

Tシャツのデザインをしよう

2 題材観(キャリア教育の視点を含む)

(1) 題材観

本題材は、学習指導要領の「A 表現 (2) イ 伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。 (3) ア 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。」と「共通事項 ア 形や色彩などがもたらす感情の理解」に関する学習内容である。

今回、偶然にできる形や色の多様な効果が得られるモダンテクニックの造形活動のひとつ、「ドリッピング(吹き流し)」の技法を取り上げた。多くの生徒が造形活動に苦手意識を持っているが、偶然性の強い模様や色彩が楽しめ、遊びの要素を多く含んだ本題材は、そのような生徒にとっても主体的に造形活動に取り組める魅力ある内容と考えられる。また、第1学年において学習した色彩の性質が本時の学習につながっていくよう授業展開を工夫することで、形や色彩、配色などの効果をいかして創造的に表現する能力の育成にもつなげていける。

(2) 生徒観及び授業観

一般的にも中学生という時期は自我意識が強くなり、自分の世界をつくろうとする傾向が強く見られる。また、自分の感情や欲求のコントロールがままならない時期でもある。このことは、造形活動にも少なからず影響を及ぼし、自分の感じたことを素直に表現できずに美術自体に対して学習意欲を失ってしまう生徒や、与えられた課題はできるが、自ら考え工夫していく主体性や、創造的な表現活動に乏しい生徒がこの学年にも多く見られる。

そのような課題に対して、今回の授業では生徒がより主体的な表現活動を行えるよう、モダンテクニックの造形活動のひとつ、「ドリッピング(吹き流し)」の技法を取り上げる。

仲間との試作品鑑賞等を通して多くの作品に触れ、偶然性の強い模様や色彩を楽しみ、様々な表現方法を体験させることによって自分の想いを相手に伝えるためには作品の制作時の中でどのような技法がふさわしいかを考えながらさまざまな技法を試し、ねらいに応じて自由に吹き流しの技法を学びながら発想を豊かに構想する能力を育てていきたい。

制作途中においても生徒のつぶやきをできるだけ取り上げて評価するとともに、意欲的な造形活動が進められるよう支援したい。生徒が自分の想いを発想豊かに表現することを通して、色彩による表現の基本的技法を身に付けさせたい。また、生徒一人一人がイメージを広げ、表したい主題を形や色彩、材料などを客観的な視点をもって効果的に活用できるよう構想を練り、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てたい。

3 単元目標

(1) 教科の授業目標

- ・偶然の形の中から自分なりのイメージを膨らませ、その形をいかしながら創造性豊かな表現をすることの喜びを味わう。
- ・人に伝えるためのTシャツのデザインに関心を持ち、使用する者の想いや造形的な美しさを考え表現の構想を練り、表したいイメージに応じて表現方法を工夫して配色や構成を考えながら創造的に表現する。

(2) キャリア教育の視点でのつきたい力

- ・生徒一人一人がイメージを広げ、表したい主題を形や色彩、材料などを客観的な視点をもって効果的に活用できるよう構想を練る。【課題対応能力】

4 単元の評価規準

I 美術への 関心・意欲・態度	II 発想や構想の能力	III 創造的な技能
①美術の創造活動の喜びを味わい使用する者の気持ちやTシャツのデザインとしての美しさを考えて、主体的に造形的な美しさを総合的に考えて構想を練ったり材料や用具の特性をいかしたりしようとしている。	①感性や想像力を働かせて、目的や条件、伝えたい内容、使用する人の気持ちや機能を基にTシャツを使用する人への想いやデザインの美しさを表現している。 ②形や色彩の効果をいかして造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。	①感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性をいかし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考え見通しをもったりしながら、創造的に表現している。

5 授業と評価の計画（全2時間）

時 数	学習内容	評 価				
		関	発	創	評価規準	評価方法
1	・参考作品を鑑賞し学習活動への見通しをもち、表現の構想を練る。	◎	○		伝えたい内容を相手に分かりやすさや美しさなどを考えて表現することに関心を持ち、主体的に構想を練ろうとしている。	・ワークシート ・観察 ・試作品
2 本 時	・テーマを再確認し、相手への想いを基に構想を練り工夫を重ね表現する。		○	◎	材料や用具の特性をいかし、表したいイメージを持ちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなど創造的に表現している。	・ワークシート ・観察 ・作品 ・授業アンケート

6 本時の授業（2／2）

(1) 本時の目標

- ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫し、見通しをもって表現できる。

(2) 評価規準

- ・材料や用具の特性をいかし、表したいイメージを持ちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなど創造的に表現している。
- ・感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考え見通しをもったりしながら、創造的に表現している。

(3) キャリア教育の視点でのつきたい力

- ・前時の試作品での構想を基に、制作途中の気づきを改善にいかし新しいデザインにつなげる。

【課題対応能力】

(4) 学習の展開

	学習活動	留意点	評価規準・評価方法
		○支援・指示等 ◇努力を要する状況と判断される生徒への手立て ◎十分満足できる状況と判断できる生徒への指示 ☆キャリア教育の視点での留意事項	★評価方法
導 入	1 本時の流れの確認する	○前時の学習を振り返り、本時の学習の見通しを持たせる。	
展 開	2 試作品を鑑賞し合う (ペア活動)	☆試作品を紹介し合い、仲間がどのように表現しているかを知らせる。	
	大切な人に自分の想いを伝えるTシャツをデザインしよう。 ～効果的な配色・技法に自分の想いを込めよう～		
	3 テーマを再確認する	☆自分の考えを相手に伝え、また仲間からのアドバイスを受け構想を明確にさせる。	・形や色彩の効果をいかして造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。 (Ⅱ―②)
	4 構想を基にTシャツのデザインを制作する	☆○学習した色彩の特性を考え、配色・構想を工夫させる。 ☆○ワークシートをもとにテーマを確認しながら自分の想いが素直に表現できるよう指示する。 ◇○◎机間指導 ※近くで声がけ ◎机間指導で生徒のつぶやきを大切に し頑張りや作品の良さをできるだけ その場で取り上げる。	★状況観察 (机間指導) ★生徒作品 (感想・説明) ★ワークシート
	5 作品説明(まとめ)	☆テーマにあった構図、配色等の説明を記入する。 ○作品のねらいや作品に込めた想いが相手へ伝わるよう、(完成作品の色彩や構図での表現を通して見て考えながら) 文章で具体的に表現できるように指示する。	・感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性をいかし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考え見通しをもったりしながら、創造的に表現している。(Ⅲ―①) ★状況観察 (机間指導) ★生徒作品 (感想・説明) ★ワークシート

ま と め	6 作品発表 7 振り返り 授業アンケートに答 え、自分の制作の課程 を振り返り学んだこと や感じたことを書く。	・机間指導で生徒の作品をピックアップし ておく。 ☆代表者数人に自分の言葉で作品に込め た想いを発表させる。	
-------------	---	---	--